



ピーナツはどうしてできるの

実は地中で育つ

ピーナツはマメ科の植物です。別名、落花生ともいわれるように、実は地中で大きくなります。

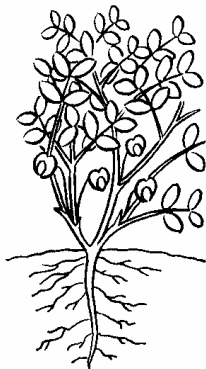
夏に、黄色の花を葉のつけ根に数個つけます。花は、朝早く咲き、昼ごろにはしおれてしまいます。花が落ちると、めしべの子房と花托との間が長くのびて、先端の子房が地面に入り、地中で大きくなります。

地中に入らないと、実がならないという変わった性質があります。サヤはかたく、中には、ふつう2個の豆が入っています。

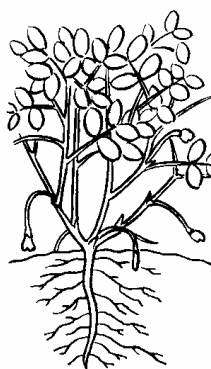
見て楽しむ植物だった

原産地は、南アメリカのボリビアとされています。日本には、17世紀ごろ中国から伝わりました。唐豆、唐人豆、南京豆ともよばれています。昔は、食用ではなく、たんにめずらしい植物としてさいばいされていました。（監修・中山 周平）

ピーナツの育ち方



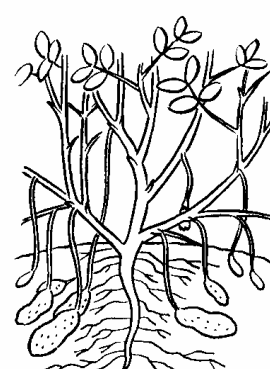
黄色の花が咲く



えがのびる



子房が地面に入り



実がなる

